



株式会社 昂



SUBARU BUSINESS REPORT



JASDAQ
証券コード9778

第59期 報告書

2016年3月1日～2017年2月28日

私たち昂は、
二十一世紀社会に貢献できる
「人財」を育てたい。



 昂の指導理念

師、
心に灯を
ともす人

昂は、創業者である西村佳夫が鹿児島大学在学中に実家から送られてきた「りんご箱」で小さな学習塾を始めたことに端を発します。りんご箱から始まった学習塾は、1965年に「鶴丸予備校」として本格的な事業となり、当時全国でも10指に入る名門塾に発展し、1984年「受験ラサール」の開校を経て昂の礎が築られました。鶴丸予備校から現在に至るまで長い

日々培われた歴史も、「師、心に灯をともす人」このことばを指標として、生徒とともに精進してきました。昂は、受験勉強は真剣に取り組み、経験することに価値があり、この間に迷い、悩みを克服し、目標達成するところに逞しい人間が形成されると考えます。私たち昂の全社員は、子どもたちが、大きな目標に向かって成長していくことを心から願っています。

当たり前だけれど、
とても大切なことを
身につけさせます。

 使命観

日日是鍛錬

1. 学問や芸術を学び極める
2. 身体を鍛える
3. 意志を鍛える



「日日是鍛錬」は、昂に関わる全ての人の強力なバックボーンであり、昂の全社員がお預かりしたお子さまを、我が子我が事と思い厳しく指導にあたる事で、多くの皆様の信頼を得ています。子どもたちを取り巻く教育環境が大きく変わりつつある昨今においても、昂ではこの方向を見誤ることなく、子どもたちが必要とし、かつ学校では充分に出来ないことを追求していきたいと考えています。

社章



三人の力で構成されています。即ち、昂と生徒・保護者の三者の力を一つに合わせて、学力・気力・体力を培い、日日是鍛錬して社章の真ん中にあるダイヤモンドのように磨きぬかれた最高のものをめざします。

営業のご報告

代表取締役社長 西村 道子

Michiko Nishimura



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第59期（平成28年3月1日から平成29年2月28日まで）報告書を作成いたしましたので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀による金融緩和策を背景に、企業収益、雇用環境の改善が続いており、一部には遅れがみられるものの緩やかな回復基調となりましたが、中国を中心とした新興国経済の成長鈍化、欧米における保護主義傾向の強まりにより株価、為替は大きく変動し、先行きに対する不透明感が強まりました。

学習塾業界においては、深刻化する少子社会において学習塾は乱立気味となり、競合は激しさを増しております。

このような状況下において当社は、期待値を上回る成績向上と第一志望校合格の実現、さらには教室環境の改善により生徒、

保護者の満足度向上を図ってまいりました。

また、事業展開としては、市場環境の変化に対応するため、経営資源の効率的運用と集中を目的に末吉校（鹿児島県曽於市）、個別指導の加治屋教室（鹿児島県鹿児島市）、個別指導明午橋教室および個別指導水前寺公園教室（熊本県熊本市）と個別指導平尾教室（福岡県福岡市）を近隣の教室へ統廃合いたしました。さらに高等部においては、鹿児島市、宮崎市、都城市で行っていたライブ授業を廃止し、新たに加治木校（鹿児島県始良市）、都城校（宮崎県都城市）を加えた「東進衛星予備校」のフランチャイズ運営に完全移行いたしました。

また、小学生を対象として脳力開発を行う新ブランド「すばるアカデミー城西教室」を鹿児島市に開校いたしました。

生徒構成においては、小学部では「キッズくらぶ」を中心に引き続き堅調に推移しました。中学部では中学1、2年生を対象に受講科目の少ないコースを導入し、潜在的需要の掘り起こしを図った結果、想定以上の成果を得ることができました。さらに東進衛星予備校の運営に特化した高等部においては新設校も加え前年実績を上回り推移いたしました。個別指導部では4教室を統廃合したこともあり前年実績を回復するまでには至りませんでした。総生徒数はわずかに前年を上回る結果となりました。受講科目の少ないコース生の増加は単価が廉価なため、売上高の増加までには至りませんでした。

この結果、当事業年度の売上高は34億46百万円（前期比2.0%減）、営業利益2億40百万円（前期比21.5%減）、経常利

益2億69百万円（前期比19.8%減）となりました。一方熊本地震による特別損失として69百万円と減損損失85百万円を計上したことにより、当期純利益は30百万円（前期比80.3%減）となりました。

対処すべき課題

私どもが認識している当面の課題と中長期的な課題については次のとおりです。

①社員が働き甲斐を持てる諸制度の見直しと基本の徹底

少子化の影響もあり人員確保が難しい時代となりました。有能な人材を確保するためにも、昨年から諸制度の見直しを図ってきました。

また、経済優先の時代にあって、組織の末端まで当社の基本的考え方が浸透しているとは言えない状況にあるので、世界に通用する人材を育てるために、組織の強化と基本の徹底を図っていきます。

②採用活動の強化

採用活動を強化するために、人事採用担当の人員を増員してきました。今後しばらくは採用が難しい時代が続くと予想されるので、アルバイト講師からの社員化や採用媒体の多様化などにより、有為の人材確保に尽力してまいります。

③スクラップ&ビルドの強化

当社が教室を展開している九州は、少子高齢化のスピードが速い地域です。そのため今後、閉鎖しなければならない教室も

出てくることが予想されます。そういう中でも人口が増加している地域もあり、また行動スタイルにも変化が起こっている状況を踏まえ、移転や新規教室の展開などを積極的に進めてまいります。

④公立高校の定員割れ問題

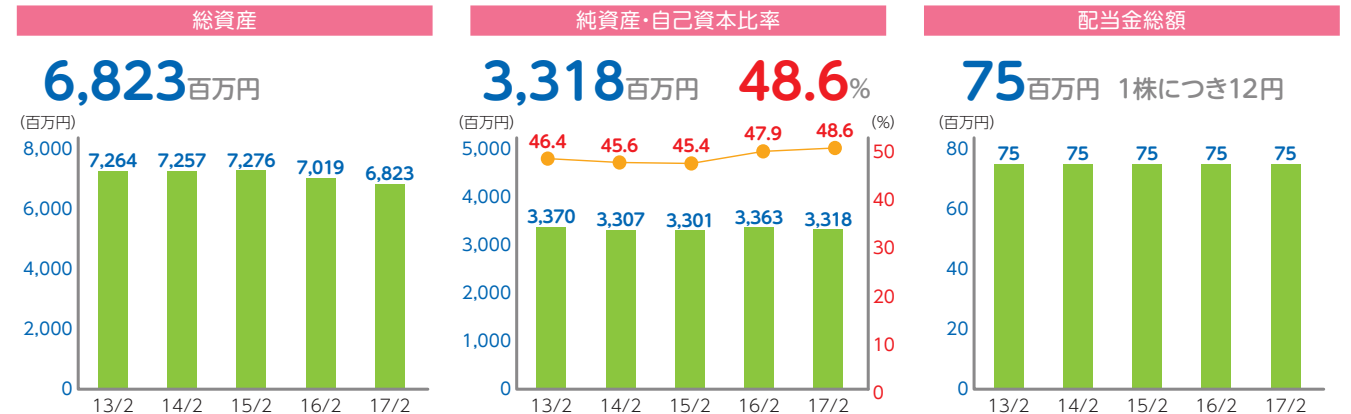
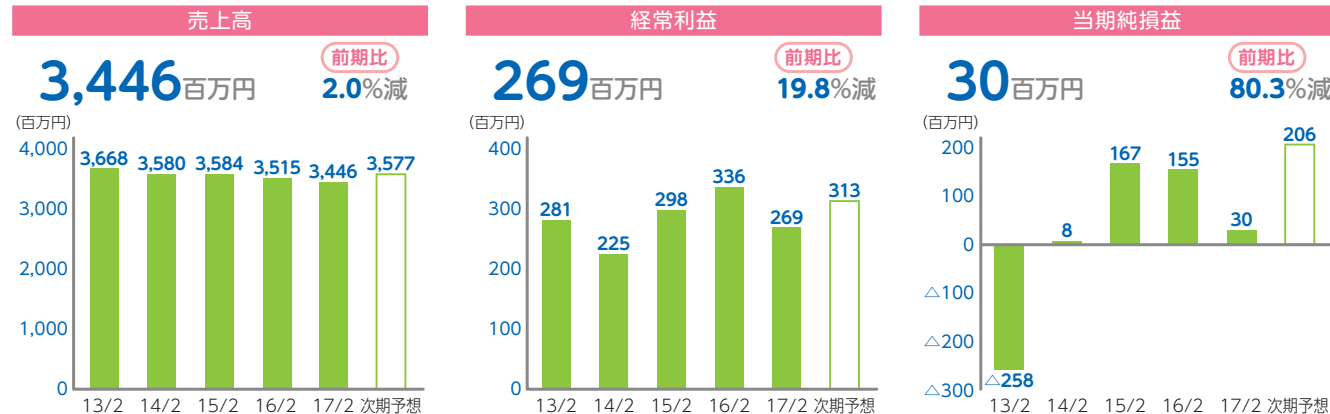
少子化が進むに従って、従来の1クラスが40人定員のままでは当然のこととして定員割れが生じています。このため、それほど勉強しなくても公立高校に入学できるとして、小学校時代から勉強しない風潮が地域に根付いています。公立高校が定員割れしないような教育イノベーションを望んでいます。教育委員会への働きかけが功を奏するところまではいっていません。このままでは、人材が育つことはなく、九州各県延いては日本の衰退を招きかねないので、実現するまで発信を続けてまいります。

⑤成績アップと授業形態の多様化

少子化と公立高校の定員割れのため、基礎基本が身につけていない生徒が多数存在しているのが現状です。当社としては学習塾の本来の目的である成績アップと第一志望校合格を実現させるため、成績上位生は学問の楽しさを知るレベルまで、また基本が必要な生徒については、やり抜く力を身につけつつ、学年で持つべきレベルまで鍛える態勢を整えました。

また離島を含む地方の教育環境の劣化が進んでいます。向上心のある児童・生徒について人員を沢山割くことなく学力向上を図る教室運営の方法の模索を続けてまいります。

主要な経営指標



2017春 主な合格実績



【公立高校の部】

鹿 児 島	鶴丸	定員 320名	153名	昇生 占有率 47%	UP!!
	甲南	定員 320名	142名	昇生 占有率 44%	
宮 崎	宮崎西	理数科	29名	昇生 占有率 66%	UP!!
	宮崎大宮	文情科	34名	昇生 占有率 42.5%	UP!!
熊 本	熊本		20名		UP!!
	済々黌		17名		UP!!
福 岡	修猷館		10名		
	城南		9名		

【私立中・高校の部】

灘	高	4名	鹿児島 全員合格!
ラ・サール		39名	
久留米大附設		20名	
東大寺学園高		3名	
西大和学園		3名	UP!!
早稲田佐賀		44名	UP!!
青雲		68名	UP!!
弘学館		31名	全員 合格!
早稲田実業高		1名	UP!!

【国公立小・中学の部】

鹿大附属小・中	202名
宮大附属小・中	119名
熊大附属小・中	68名
福教大附属福岡中	4名

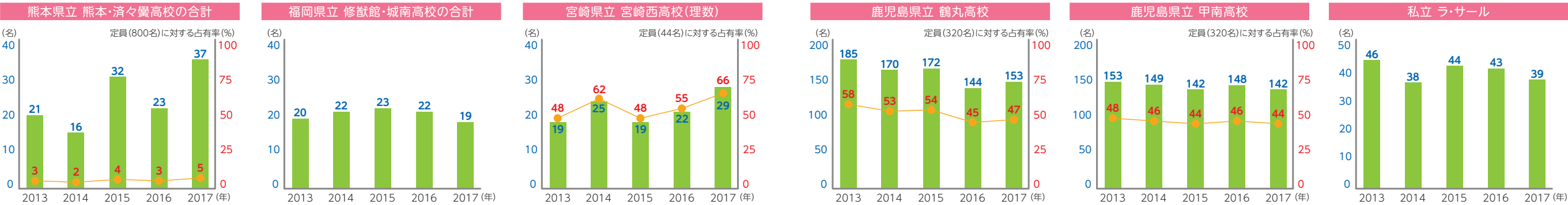
【大学の部】

国公立大学			
東京大	九州大	横浜市立大	
大阪大	熊本大	九州工業大	
東北大	長崎大	北九州市立大	
北海道大	大分大	下関市立大	
神戸大	宮崎大	熊本県立大	
横浜国立大	鹿児島大	福岡教育大	
千葉大	佐賀大	長崎県立大	
防衛医大	琉球大		他多数
防衛大	山口大		
私立大学			
慶應義塾大	中央大	東京女子大	
早稲田大	法政大	日本女子大	
東京理科大	学習院大	西南学院大	
明治大	同志社大	福岡大	
立教大	立命館大	日本大	
青山学院大	関西大	他多数	

公立中高一貫校

鹿児島玉龍中	54名
宮崎西高附属中	51名
都城泉ヶ丘高附属中	34名

有名校の合格者推移



*合格者数は卒業時まで在籍した生徒に限定して集計してあります。

※2016年までの定員は40名。

皆様からの「声」

昴では、皆様から
様々なご意見をいただき、
子どもたちの指導に
役立てています。



武蔵ヶ丘校

合宿お世話になりました。力をつけたようです。褒められたり順位が上がったことを報告してくれたり、わかることが嬉しいような態度も見られます。また先生や友達の話をしてくれて、苦しいことも頑張りにかかわっているようです。疲れたと母がいうと、俺のほうがきついと言います。でもそれが嫌な言葉には聞こえてこないの、昴塾に慣れ、息子には合っていたんだと改めて感謝しています。

受験ラサール 加治屋

私は11月から受験ラサールにかよいはじめました。まず、体験ではとてもきんちょうしていましたが、でも入塾すると、声をかけてくれた子がいてとてもうれしかったです。今では4~5人話しかけてくれます。また、ここに通うことで、受験したいという気持ちがいっそう高まり、学校の授業で「あ、ここやった所だ」と思えることが楽しいです。

鴨池校

いつも有り難うございます。入塾して4ヶ月が経とうとしています。その間テストも数回受け、名前が貼り出されているようで、娘から報告を受けています。がんばる意欲が減退しないよう、これからも家庭でも声かけしていきます。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

玉江校

いつもお世話になりありがとうございます。担任の先生が娘にとっても寄り添って下さるので、とても有難いです。(私がうるさいので) とても癒されているようです。又、教科を越えて指導して下さるので、嬉しいそうです。今後も宜しくお願いします。いつもありがとうございます。

西新校

ようやく進路が決まり、安堵しています。教室長を始め、各教科の先生方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。思い起こせば、塾への体験に申し込んだものの突然の入院。1学期の期末テストの対策の際には入塾前にも関わらず快く受け入れてくださり、本当に感謝しています。昴にお世話になるようになってからは毎回楽しみに塾に行っていました。先生方も面白く、また他校のよきライバル達にも恵まれてたようです。なかなかエンジンがかからずもどかしい時期もありましたが、先生方に根気強くお付き合いいただいたお陰で後半は何とか追いつけてくれました。頑張れば自分に返ってくることを身に染みて感じる事が出来たと思います。この経験を高校でも活かしてほしいです。昴で過ごした1年弱の期間でしたが、彼の人生において忘れられない時間になった事と思います。本当にありがとうございました。メールにて失礼かと思いましたが、取り急ぎお礼まで。

都城校 (きつづ)

せんせいたちへ。
さんすう こくご たの
しかったです。いっぱい
べんきょうをして ひら
がなをじょうずにかける
ようになりました。これ
から、べんきょうをがん
ばります。

武蔵ヶ丘校

いつもお世話になります。本命入試まで1ヶ月。息子の目の前には高専しかみえておらず夢中になっている事を嬉しく感じ、ここまで頑張ってきた息子の頑張り、先生方のご指導に感謝しかありません。こんなにも伸びるとは驚いています。順位が上がった事や友達との接戦を話してくれます。A1でのトップを自慢してました。判定も伸びた事で自信になったようです。ノートを褒められた事を喜んだり、高校生の姉に問題を出して間違えると誇らしく笑ってます。朝起きると電気をつけたまま眠ってるほどの頑張りなので合格のご褒美をあげたいです。きつさもありますが食欲もあります。登校もあと2ヶ月。頑張って、目標の皆勤賞と合格を掴み取ってほしいです。どうぞよろしくお願いします。

株式併合および 単元株式数の変更に関するお知らせ・Q&A

Q1 株式併合は資産価値に影響を与えないのですか。

A1 株式併合の前後で、会社の資産や資本に変わりはありませんので、株式市況の動向等の他の要因を別にすれば、理論上は、株主様ご所有の株式の資産価値に変動はありません。株式併合後においては、ご所有の株式数は10分の1になる一方で、1株当たりの純資産額は10倍になるからです。

株式
併合前

株式数	1株当たり 純資産額	資産価値
1,000株	500円	500,000円

株式
併合後

株式数	1株当たり 純資産額	資産価値
100株	5,000円	500,000円

Q2 所有株式数と議決権数はどうなりますか。

A2 【所有株式数について】 各株主様の株式併合後の所有株式数は、平成29年8月31日の最終の株主名簿に記録された株式数に10分の1を乗じた数（1に満たない端数がある場合には、これを切り捨てます。）となります。証券会社等に株主様が開設されている口座に記録されている当社株式の数は、平成29年9月1日付けで、株式併合後の株式数に変更されます。なお、株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、当社が一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて交付いたします。

A2 【議決権数について】 株式併合によって、各株主様の所有株式数は10分の1になりますが、あわせて単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を行うため、各株主様の議決権数は変わりません。具体的には、株式併合および単元株式数変更の前後で、所有株式数および議決権数は以下のとおりとなります。

	所有株式数	議決権数
例Ⅰ	3,000株	3個
例Ⅱ	1,500株	1個
例Ⅲ	333株	なし
例Ⅳ	3株	なし

効力
発生後

	所有株式数	議決権数	端数株式相当分
例Ⅰ	300株	3個	なし
例Ⅱ	150株	1個	なし
例Ⅲ	33株	なし	0.3株
例Ⅳ	なし	なし	0.3株

- 例Ⅱおよび例Ⅲでは単元未満株式（効力発生後において、例Ⅱは50株、例Ⅲは33株）がありますので、従前と同様、ご希望により単元未満株式の買取り制度がご利用できます。
- 例Ⅲおよび例Ⅳにおいて発生する端数株式相当分（例Ⅲは0.3株、例Ⅳは0.3株）につきましては、当社が一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて交付いたします。
- 例Ⅳにおいては、株式併合後に所有する株式がなくなりますので、株主様としての地位は失われます。なお、株主様が開設されている証券会社が複数にわたる場合は、原則として各証券会社の振替口座簿に記録された当社株式の残高に対して、株式併合の手続きがなされます。詳しくはお取引の証券会社または、後記株主名簿管理人までお問い合わせください。

当社は、2017年9月1日を効力発生日として、株式併合（10株を1株に）および単元株式数の変更（1,000株⇒100株）を行います。これに伴い、株主優待制度についても変更させていただきます。なお、株主様におかれましては、特に必要なお手続きはございません。

Q3 1株未満の端数が生じないようにする方法はありますか。

A3 株式併合の効力発生前に、単元未満株式の買増しにより単元株式にされるか、または買取りをご請求いただくことにより、1株未満の端数が生じないようにすることも可能です。なお、単元未満株式の買増し、買取りのお申し

出は、お取引の証券会社において受け付けております。証券会社に口座を作られていない株主様（特別口座にて保有されている）は、後記株主名簿管理人（特別口座管理機関）までお問い合わせください。

●株主優待の変更の内容

部分は変更箇所です

	現行の株主優待内容	変更後の株主優待内容
贈呈基準 (8月末)	所有株式数※ ・1,000株(1単元)以上の場合 3kgの青森産りんご ・5,000株(5単元)以上の場合 5kgの青森産りんご を贈呈する	所有株式数 ・100株(1単元)以上の場合 3kgの青森産りんご ・500株(5単元)以上の場合 5kgの青森産りんご を贈呈する
贈呈基準 (2月末)	所有株式数※ ・1,000株(1単元)以上の場合、当社の運営する 各教室で利用できる5,000円の優待券を贈呈する ・5,000株(5単元)以上の場合、当社の運営する 各教室で利用できる10,000円の優待券を贈呈する	所有株式数 ・100株(1単元)以上の場合、当社の運営する 各教室で利用できる5,000円の優待券を贈呈する ・500株(5単元)以上の場合、当社の運営する 各教室で利用できる10,000円の優待券を贈呈する

※株式併合前の株式数を表示しております。

●変更実施の時期

平成30年2月28日を基準日とする株主名簿に記載または記録された株主様から適用させていただきます。

【お問い合わせ先】

単元株式数の変更および株式併合に関し
ご不明な点は、お取引のある証券会社ま
たは右記株主名簿管理人および特別口座
管理機関までお問い合わせください。

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

電話番号:0120-232-711(通話料無料)

受付時間:午前9時から午後5時まで(土日、祝日を除く)

教室案内 (2017年5月現在)



新上橋校	☎(代)099-252-3656
鴨池校	☎(代)099-255-1251
甲南校	☎(代)099-256-1771
紫原校	☎(代)099-256-1851
上町校	☎(代)099-247-4321
伊敷校	☎(代)099-228-9361
和田校	☎(代)099-267-2281
吉野校	☎(代)099-244-2756
玉里校	☎(代)099-229-0778
武岡校	☎(代)099-281-0722
桜ヶ丘校	☎(代)099-275-1822
中山校	☎(代)099-260-7077
玉江校	☎(代)099-295-3202
皇徳寺校	☎(代)099-275-2366
西原校	☎(代)0994-43-9998
始良校	☎(代)0995-65-6014
寿校	☎(代)0994-43-6500
川内校	☎(代)0996-25-3816
川内北校	☎(代)0996-20-3380
加治木校	☎(代)0995-62-3313
国分校	☎(代)0995-47-0740
出水校	☎(代)0996-63-8751
加世田校	☎(代)0993-53-5334
志布志校	☎(代)099-473-3813
名瀬校	☎(代)0997-54-0360
枕崎校	☎(代)0993-73-2555
伊集院校	☎(代)099-273-0609

串木野校	☎(代)0996-32-7344
隼人校	☎(代)0995-43-5201
指宿校	☎(代)0993-22-6100
フレスポ国分校	☎(代)0995-73-4630
大塚校	☎(代)0985-50-5350
大淀校	☎(代)0985-50-7335
大宮校	☎(代)0985-38-8258
加納校	☎(代)0985-85-4415
浮城校	☎(代)0985-61-8211
都城校	☎(代)0986-26-4450
西都城校	☎(代)0986-24-5755
小林校	☎(代)0984-23-1124
延岡校	☎(代)0982-22-0805
日向校	☎(代)0982-54-1219
武蔵ヶ丘校	☎(代)096-339-5413
健軍校	☎(代)096-369-3440
八代校	☎(代)0965-33-4400
宇土校	☎(代)0964-22-8222
玉名校	☎(代)0968-72-0711
菊陽校	☎(代)096-233-3337
大津校	☎(代)096-293-7688
西新校	☎(代)092-833-8331
室見校	☎(代)092-844-8585
姪浜校	☎(代)092-883-8000



鴨池教室	☎(代)099-285-3511
中央教室	☎(代)099-812-6336

谷山教室	☎(代)099-260-9588
玉江教室	☎(代)099-295-3220
橘教室	☎(代)0985-60-5213
水前寺教室	☎(代)096-386-5558
武蔵ヶ丘教室	☎(代)096-348-7533
けやき通り教室	☎(代)096-370-8688
西新教室	☎(代)092-852-1651
姪浜教室	☎(代)092-883-8666
鳥飼教室	☎(代)092-832-5155



加治屋(中学部)	☎(代)099-222-6637
加治屋(小学部)	☎(代)099-222-5345
谷山	☎(代)099-268-1381
宮崎(中学部)	☎(代)0985-31-0033
宮崎(小学部)	☎(代)0985-29-0131
水前寺	☎(代)096-385-8801



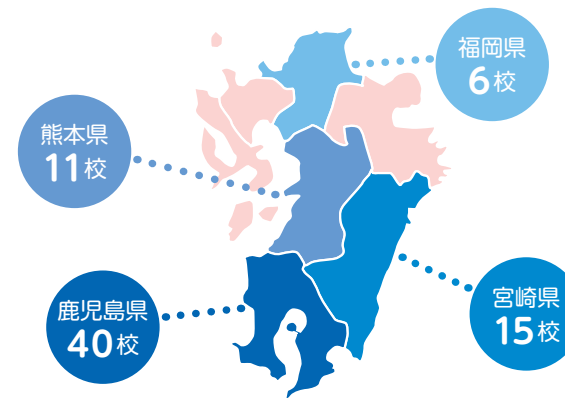
城西教室	☎(代)099-203-0919
------	------------------



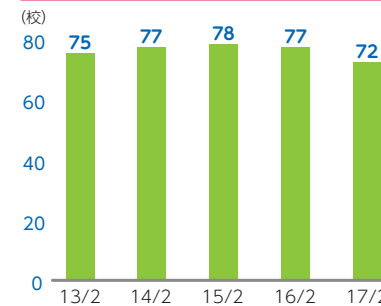
鹿兒島中央町	☎(代)099-230-7154
加治木	☎(代)0995-73-5090
宮崎橘	☎(代)0985-65-8577
都城	☎(代)0986-46-5228
★宮崎大塚	☎(代)0985-65-5277

★は新設校です

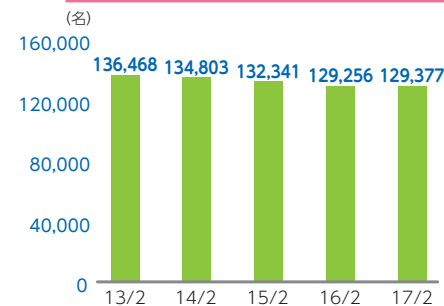
所在地別校舎数 (2017年5月現在)



校舎数推移



生徒総数推移



株主優待制度

昂では、株主の皆様への利益還元策の一環として、株主優待制度を設けています。

中間期末

毎年8月31日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「青森産りんご」を毎年12月(旬の時期)にお贈りしております。
風邪を予防する働きがあると言われるビタミンCやAなどが豊富に含まれる、天然の健康食品・りんごの味覚をお楽しみください。

【優待制度の内容】

所有株式数1単元以上は3kg、5単元以上は5kgの青森産りんごを贈呈。



期末

毎年2月末日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「株主ご優待券」を贈呈させていただきます。是非ともお役立てくださるようお願い申し上げます。

【優待制度の内容】

1. 所有株式数1単元以上は、5,000円の優待券を、5単元以上は、10,000円の優待券を贈呈。
2. 優待券は、昂の全教室(東進衛星予備校を除く)で入学金、受講料などのお支払いにご利用いただけます。
3. 平成29年6月1日から平成30年5月31日まで1年間有効。
4. 本券と現金の引換えはいたしません。
5. 盗難、紛失等による再発行はいたしません。



※単元株変更に伴う、優待制度変更に関するお知らせ(本書10ページ)をご参照ください

財務諸表

BS 貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期 平成29年2月28日	前期 平成28年2月29日
資産の部		
流動資産	354	349
固定資産	6,468	6,669
資産合計	6,823	7,019
負債の部		
流動負債	1,522	1,497
固定負債	1,983	2,158
負債合計	3,505	3,655
株主資本	3,288	3,334
資本金	990	990
資本剰余金	971	971
利益剰余金	1,840	1,885
自己株式	△514	△513
評価・換算差額等	29	28
純資産合計	3,318	3,363
負債純資産合計	6,823	7,019

CF キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期 平成28年3月 1日から 平成29年2月28日まで	前期 平成27年3月 1日から 平成28年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	290	231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	9	△89
現金及び現金同等物の期首残高	152	242
現金及び現金同等物の期末残高	161	152

PL 損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 平成28年3月 1日から 平成29年2月28日まで	前期 平成27年3月 1日から 平成28年2月29日まで
売上高	3,446	3,515
売上原価	2,622	2,630
販売費及び一般管理費	582	577
営業利益	240	307
営業外収益	41	45
営業外費用	13	16
経常利益	269	336
特別利益	13	5
特別損失	155	32
税引前当期純利益	127	308
法人税、住民税及び事業税	101	123
法人税等調整額	△4	29
当期純利益	30	155

企業情報

【会社概要】(2017年2月28日現在)

社 名	株式会社 昴
本社所在地	〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町9番1号
電 話 番 号	099-227-9500
設 立	昭和47年7月
資 本 金	9億9,075万円
従 業 員 数	296名
事 業 内 容	当社は、幼児、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒および高校生を対象とする学習塾であります。
代 表 取 締 役 社 長	西村 道子
代 表 取 締 役 副 社 長	西村 秋
取 締 役	毛利 寿男
取 締 役	立山 政俊

【役員状況】(2017年5月25日現在)

社外取締役(監査等委員)	柴垣 悦朗
社外取締役(監査等委員)	宮川 秀樹
社外取締役(監査等委員)	末永 隆

【株式の状況】(2017年2月28日現在)

発行可能株式総数 15,000,000株

発行済株式の総数 6,935,761株

株 主 数 843名

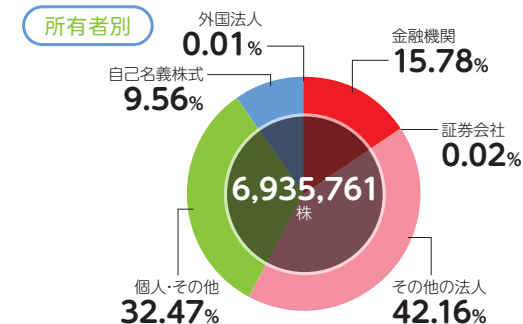
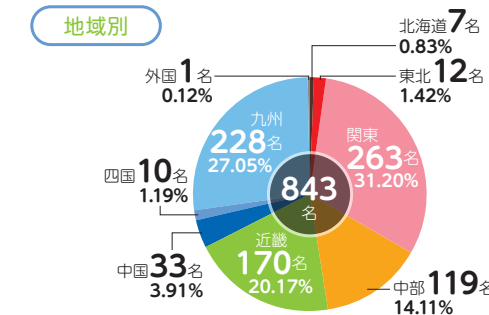
【大株主】(上位11名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社学友社	2,567	40.9
西村 秋	460	7.3
西村道子	389	6.2
資産管理サービス信託銀行株式会社	360	5.7
株式会社鹿児島銀行	310	4.9
株式会社南日本銀行	214	3.4
昴取引先持株会	129	2.0
昴社員持株会	106	1.6
佐藤兼義	101	1.6
株式会社宮崎銀行	90	1.4
三菱UFJ信託銀行株式会社	90	1.4

(注)持株比率は、自己株式(662,787株)を控除して計算しております。

(注)持株比率は、自己株式(662,787株)を控除して計算しております。

【株式分布状況】(2017年2月28日現在)



昴のリアルタイム情報を当社のホームページでご覧いただけます。→ <http://www.subaru-net.com>

【株主メモ】

事業年度 3月1日～翌年2月末日

期末配当金受領株主確定日 2月末日

中間配当金受領株主確定日 8月31日

定時株主総会 毎年5月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

同 連 絡 先 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
午前9時から午後5時まで(土日、祝日を除く)
上記電話番号をご利用いただけない場合 03-6701-5000 (通話料有料)

上場証券取引所 株式会社 東京証券取引所 JASDAQ市場

公告の方法 公告掲載URL <http://www.subaru-net.com>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、
日本経済新聞に公告いたします。)

単 元 株 式 数 1,000株 ※2017年9月1日より100株となります
(本書9～10ページをご参照ください)

! ご注意

1. 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9778

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com